

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	03	194130	消防団員育成強化事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	市民の防火意識の高揚及び団員の資質・技術の向上					
対象	消防団員					
意図	市民の防火意識の高揚を図り、また団員の災害時に必要な技術を習得させることにより発災時の安全・迅速・確実な活動により被害の軽減につなげる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>○消防団員への教育、研修 岩手県消防学校へ入校し、階級に応じて必要となる知識及び技能を習得する。 他の消防団組織や団活動を視察し、市消防団の今後のあり方を検討する。</p> <p>○消防演習の実施 日頃の訓練成果を披露し、市民からの消防団への関心を高め充足率の向上を図る。</p> <p>○消防団活動装備 災害活動内容に即した装備の配備と、摩耗した被服等の更新を図る。また、団員の安全装備の面からも新防火服、防火ヘルメットの配備を3カ年で整備する。</p>						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	消防学校入校人員	人	計画	22	23	
			実績	18	22	
②	消防演習参加人員	人	計画	1,300	1,300	
			実績	1,272	1,205	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	消防団員充足率	%	目標	95.0	97.0	
			実績	89.4	89.6	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
全国的に消防団員の減少やサラリーマン団員が増加しており、消防力の低下が危惧されている。当市も同様な環境であるが、装備品及び被服等の充実を図り「魅力ある消防団」を目指すとともに、活動しやすい環境づくりの一環として、消防団応援事業所の募集や消防団行事を見直し消防団員の確保対策を推進した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	消防団員の身分は非常勤の特別職地方公務員であり、公共機関の関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	消防演習等の行事の際に活動のPRを実施し、また、消防団応援事業所の募集を行い新入団員数・充足率の向上を図る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最低限の事業費で消防団活動は実施されており、また報酬・手当についても条例において定められていることから、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	地域・市民を守る消防団員の規律・技能等向上は、地域防災・地域減災へ繋がり、消防団活動への事業費投入は花巻市民全てが消防団員が創り出す「安心して暮らせる花巻市」を受益するものである。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
消防演習時に「消防フェスティバル」を同時開催し、演習会場へ露店を出店することにより来場者数の増加がみられた。また、消防車両への乗車体験等を通して消防団への理解と興味の高まりが感じられた。 地域防災力向上のため団員の確保が重要であることから、消防団員の装備等の充実を図るとともに行事の見直しも考慮しつつ団員の活動環境を整え、消防団組織の活性化に繋げていく。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	09	01	03	194130	消防団員育成強化事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		9,891	24,856		14,965
財源内訳	国・県	512			△ 512
	地方債				
	その他	1,000			△ 1,000
	一般財源	8,379	24,856		16,477

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

地域消防力を強化するため、消防団員の人員確保に努めるとともにその活動を支援し、活力ある消防団組織を構築する。

事業開始の背景・経緯

消防団員数は年々減少傾向にあり、また団員の高齢化が進んでいる。それらを打開すべく地域防災の要である消防団の活動を市民にPRし新入団員数の増加、充足率の向上を図ろうとするもの。また、団員に対する教育を充実させ、より迅速・安全な現場活動を展開する。

事業概要

- 消防団員への教育、研修  
岩手県消防学校へ入校し、階級に応じて必要となる知識及び技能を習得する。  
他の消防団組織や団活動を視察し、市消防団の今後のあり方を検討する。
- 消防演習の実施  
日頃の訓練成果を披露し、市民からの消防団への関心を高め充足率の向上を図る。
- 消防団活動装備  
災害活動内容に即した装備の配備と、摩耗した被服等の更新を図る。また、団員の安全装備の面からも新防火服、防火ヘルメットの配備を3カ年で整備する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 消防団活動等のPRの為に、消防演習会場等へ参観者や来場者を増やす。  
↓  
消防演習会場等に赴いた市民に「関心と楽しみ」を持たせる。  
↓  
消防演習と「消防フェスティバル」の同時開催。露店の出店。消防団行事以外（商業地域、事業所等）でのPR活動

担当部署 部名 消防本部 課名 総務課 担当係長 八重樫晴彦 内線 376

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①消防団員への教育、研修 936千円 (前年度比：277千円減)

(平成27年度実施の消防大学校入校及び日本消防協会表彰式参加の経費252千円が皆減)

◇消防学校入校 181千円 (前年度比：13千円減)

初級幹部科 7名入校	消防団の運営に必要な規律、安全管理の重要性について理解するとともに地域住民に対して防災指導を行えることを目的とする。
現場指揮過程 7名入校	火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導及び情報収集・伝達に係る適切な現場指揮及び安全管理の知識及び技術を習得するとともに、自主防災組織に対して防災指導を行えることを目的とする。
分団指揮課程 8名入校	分団指揮者として消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識と各種災害発生時における分団管理運営及び効率的な現場活動の在り方を深く理解する。

◇視察研修(分団長以上の階級26名) 755千円 (前年度比：12千円減)

他市の消防団組織や団活動を視察し、花巻市消防団の今後の在り方の検討材料とする。

②消防演習の実施 2,239千円 (前年度比：295千円増)

- ◇内容 各種訓練(小隊・中隊・ラッパ・ポンプ操法・放水)  
応急給食、幼年クラブ演技等
- ◇時期 平成28年6月5日(日)8:00~13:00
- ◇場所 第1会場(北東金属グラウンド)・第2会場(上町)・第3会場(北上川河川敷)
- ◇経費 会場設営等(合図煙火・除草・園児遊戯使用資機材搬送)、借上(音響設備・送迎バス・仮設トイレ)参加団体謝礼、炊き出し訓練食材、放水訓練水着色剤、看板等

③消防団員活動装備 21,681千円 (前年度比：15,716千円増)

- ◇内容 現場用ホース 60本 1,736千円  
防火服、被服、活動服、裨纏等 19,575千円  
防塵マスク(新規) 370千円

※ 平成27年度実施の消防団応援事業の769千円が皆減